

## 研 修 費 一 覧

合計額 89,220 円

(出金日)						
	年	月	日	経費(摘要)	金額(円)	領収書等No.
1	31.1.17	~	31.1.31	地方議員研究会研修	89,220	①
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
小計					89,220	

※ 報告書の原本(資料含む)は議会事務局で保管しています。

## 調査研究、研修視察経費出金明細書

旅費総額 89,220 円

活動年月日	平成31年1月30日 ~ 平成31年2月1日					
氏名	瀧澤逸男					
活動地 及び 活動内容	(活動地)	(活動内容)				
	神戸市中央区	自治体病院経営最前線2018—最新情報を伝授				
	同上	国の医療政策と自治体病院—病院生き残りの時代に対応するか				
	同上	人口減少時代の自治体病院経営				
交通費	J R・私鉄 飛行機 高速バス レンタカー等	日付	区 間	単価×人数	金額	領収書No ※1
	J R	1/30 2/1	上越妙高 ~ 神戸市内 (往復)	20,660 × 1	20,660 円	ア
				×	円	
				×	円	
				×	円	
				×	円	
	鉄道賃			×	円	
	航空賃			×	円	
	ほか			×	円	
				×	円	
				×	円	
				×	円	
				×	円	
	その他				円	
( 視察先でバス、 タクシーなどを 利用した場合 )				円		
				円		
				円		
				円		

※1 領収書No.欄の記入にあたり、「券売機等で切符を購入したため領収書が添付できないもの」については、— で表記する。

	調査研究 研究 経費	日付	内容又は場所	単価 × 人数		金額	領収書No
			1/31	自治体病院経営最 前線2018	@	×	15,000 円
・参加費 ・受講料 ・資料代		1/31	国の医療政策と自 治体病院	@	×	15,000 円	イ
		1/31	人口減少時代の自 治体病院経営	@	×	15,000 円	イ
		1/30 1/31	神戸市 (1泊朝食付き)	@	10,700 × 2日	21,400 円	ア
その 他の 経 費	宿泊費 ※2			@	×	円	
				@	×	円	
食費 ※3				@	×	円	
				@	×	円	
				@	×	円	
				@	×	円	
				@	×	円	
				@	×	円	
				@	×	円	
その他  ・手数料 ・入館料 ・土産代		コース作成・見積り作成料				1,080 円	ア
		旅行会社取扱料金				1,080 円	ア
						円	
						円	
						円	
						円	

※2 宿泊費・・・ 14,800円以内

※3 食費・・・食事なしで宿泊した場合、宿泊費の範囲内で  
3,000円(朝食代は1,000円以内、夕食代は2,000円以内)を支出できる。  
(いずれも領収書を添付のこと)



領 収 証

瀧澤 逸男 様

31 年 1 月 31 日

★

¥45,000

但 1/31.2/1 「激動の時代の自治体病院経営」  
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

# 地方議員研究会

## 激動の時代の自治体病院経営

in神戸



1月31日(木)

2月1日(金)

10:00~12:30

### 自治体病院経営最前線2018 —最新情報を伝授

- ・自治体病院経営をめぐる最新情報を伝授
- ・総務省の自治体病院政策はどのように動いているか
- ・目からウロコ、間違いだらけの自治体病院経営
- ・こうすれば自治体病院経営は改善する、ツボを伝授
- ・地方独立行政法人など経営形態変更は経営改善につながるか?

10:00~12:30

### 人口減少時代の 自治体病院経営

- ・本格的少子高齢社会が地域に何をもたらすのか?
- ・常識を疑え!自治体病院の存在意義を再定義する
- ・医師・看護師をいかに集めるかのポイント伝授
- ・地域雇用の受け皿としての自治体病院
- ・人口減少時代における地方議会の果たす意義

14:00~16:30

### 国の医療政策と自治体病院 —病院生き残りの時代に対応するか?

- ・国の医療政策はどのように動くか?
- ・都道府県地域医療構想の意義は何か?
- ・2018年度診療報酬改定のポイント
- ・自治体病院経営の羅針盤としてのDPC
- ・診療報酬加算取得は自治体病院経営の最重要ポイント

14:00~16:30

### あなたの地域の自治体病院の 経営を診断する2018年版

- ・2018年度における最新データに基づき、参加者の自治体病院の経営状況をリアル分析
- ・自治体病院経営の必須データである地方公営企業年鑑とDPC調整係数を徹底解説
- ・医師給与の水準はどのくらいが望ましいのか、相場観を持つ
- ・徹底指南!こうすればあなたの自治体の病院の収益は改善する
- ・議会質問1回で数千万円単位の経営改善を実現する

いせき とよし  
伊関 友伸

研究テーマは、行政評価、地域医療問題、保健・医療・福祉のマネジメント。2006年8月から2007年3月まで、夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わる。兵庫県丹波市の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動の支援も行っている。総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」など、数多くの国・地方自治体の委員等をつとめる。全国市長会機関誌「市政」に「スクレピオスの杖を探して 地域医療再生への道」を連載中。

東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1987年埼玉県入庁(県民部県民総務課調査係)、北埼玉郡大和町企画財政課長(異派遣)、総合政策部計画課課長主査(計画フレーム担当)、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター総務課長担当主幹、2004年城西大学経営学部マネジメント総合学科助教授、2010年同教授、医学書院「病院」編集委員。